

平成28年6月3日
国立大学法人東京大学

国立大学法人東京大学の会計監査人候補者の選定結果について

本件について、次のとおり報告いたします。

1 審査経緯

- (1) 会計監査人候補者の選定を行うため、平成28年3月24日から4月21日までの間、本学ホームページにおいて、平成28年度から平成33年度までの複数年度を想定した条件のもとに当該企画書の募集を行ったところ、有限責任あずさ監査法人、新日本有限責任監査法人及び有限責任監査法人トーマツの3者から応募があった。
- (2) 企画書については、平成28年5月18日に各監査法人によるプレゼンテーションを実施し、審査を行った。
- (3) 当該審査に際しては、本学教職員により構成された会計監査人候補者選定委員7名によって「会計監査人候補者選定基準」に基づき実施した。
- (4) 当該審査結果は、次のとおりであった。

順位	企画書応募者
1	新日本有限責任監査法人
2	有限責任監査法人トーマツ
3	有限責任あずさ監査法人

- (5) 以上の審査結果を踏まえ、国立大学法人東京大学の会計監査人候補者については、第一候補者を新日本監査法人、第二候補者を監査法人トーマツ、第三候補者をあずさ監査法人に決定した。
- (6) 候補者については、毎年度文部科学大臣の選任を受けることから、契約は単年度契約とする。平成29年度以降については、当該監査業務の実績及び次年度における監査計画を本学において評価・検証したうえで、適切であると認められた場合限り、引き続き文部科学大臣の選任を求めることとする。その他、適切な監査業務を遂行することが困難となる状況が生じた場合には、選定の見直しの対象となる。なお、平成30年度終了時点で、前述の評価及び監査計画の審査に加え、中間評価を実施予定である。

2 「会計監査人候補者選定基準」

別紙のとおり

平成28年度国立大学法人東京大学会計監査人候補者選定基準

1 会計監査人業務の内容と品質管理

- (1) 監査の実施体制（平成28年度～平成33年度）
 - ① 監査計画の評価
 - ② 監査手法の評価
 - ③ 監査日数の評価
- (2) 監査チームの構成
 - ① 監査チームの編成状況の評価
 - ② 監査要員の専門性及び国立大学法人等における監査業務の実績の評価
- (3) 監査における助言・指導的機能
 - ① 指導助言体制
 - ② 監事・監査室等との連携
- (4) 日本公認会計士協会の定める監査の品質管理に関する指針に即した品質管理体制

2 国立大学法人等に関与した業務実績

- (1) 国立大学法人等への業務実績
 - ① 国立大学法人への業務実績
 - ② 独立行政法人、特殊法人、学校法人、公的機関、民営化会社への業務実績
 - ③ 病床数400床以上の公的な急性期病院への業務実績
- (2) 国立大学法人会計基準等に関する知見
 - ① 国立大学法人会計基準等検討会議、専門部会等への関与の有無
 - ② 日本公認会計士協会又は公的機関における国立大学法人会計又は独立行政法人会計制度に関連する専門部会等への関与の有無
- (3) ERP会計システムに関与した業務実績の評価

3 本学の取り組みに対する対応

- (1) 第3期中期目標・中期計画期間における対応等
- (2) 研究費の不正防止ガイドラインへの対応等
- (3) 国立大学会計基準改訂への対応等

4 経営の安定性

- (1) 監査法人等概要による経営状況
 - ① 平成26年度業務収入（営業収益）、直近5年間の収入総額
 - ② 平成26年度経営利益（当期利益）
 - ③ 人員（社員数、公会計部門対応者人員）
 - ④ 日本公認会計士協会の実施した平成25年4月から平成28年3月までの審査において、監査上の重大な問題等の指摘の有無

5 監査報酬見積費用（平成28年度～平成33年度の平均額により評価）

- (1) 見積費用の妥当性
 - ① 執務予定日数と監査計画の整合性
 - ② 見積費用の積算の合理性
 - ③ 監査日程等の変更に伴う見積費用の合理的な積算方法及びその他付随する費用の考え方